第5回

大阪市立総合医療センター
大阪公立大学医学部附属病院

合同市民医学講座

入場 無料
定員250名
事前申込制
手話通訳あり

人生百寿時代。心臓と脳を守るために
～知っておきたい「病気のサイン」と「救急のタイミング」～

2026年
12月19日（土）
13:00～15:00（開場12:30）

会場 大阪市立総合医療センター
さくらホール
大阪市都島区都島本通2-13-22
大阪メトロ谷町線「都島」駅下車、2番出口から西へ徒歩3分
JR環状線「桜ノ宮」駅下車、東出口から北東へ徒歩7分

申込方法 WEB申込み（11月20日締切）

QRコードを読み取りまたは右記URLよりお申込みください
詳しくは、「大阪市立総合医療センター　市民医学講座」で検索
※お電話での受付はできかねますのでご了承ください。

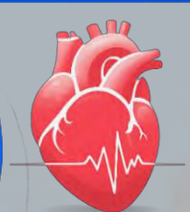
想定を超えるお申込があった際には申込フォームを予告なく閉鎖することがございます

https://forms.gle/vCKTmvJdGZxUoNYD7

プログラム

● 開会挨拶　大阪市立総合医療センター　病院長　清水　貞利

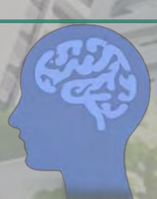
第1部



心臓がばてる「心不全」とは
～再悪化を防ぐ大阪の地域連携 OSHEF の取り組み～

座　　長　大阪公立大学医学部附属病院　副院長　前田　清
講 演 者　大阪市立総合医療センター　循環器内科　部長　阿部　幸雄

第2部



救急医が伝える脳疾患と頭部外傷
～救命救急センターの現場から～

座　　長　大阪市立総合医療センター　副院長　小西　啓夫
講 演 者　大阪公立大学医学部附属病院
救命救急センター　センター長　西村　哲郎

● 閉会挨拶　大阪公立大学医学部附属病院　病院長　中村　博亮

主　　催　大阪市立総合医療センター・大阪公立大学医学部附属病院
後　　援　大阪府・大阪市・関西経済連合会・大阪商工会議所・関西経済同友会
お問合せ　大阪市立総合医療センター　☎:06-6929-1221（代表）

健活10 Osaka wellness action

講演概要

心臓がばてる「心不全」とは
～再悪化を防ぐ大阪の地域連携 OSHEF の取り組み～



大阪市立総合医療センター　循環器内科
部長　阿部　幸雄

心不全は原因を表す病名ではありません。
どんな心臓病が原因であっても、心臓が疲れ果てた結果として息切れやむくみが出てくれば、その状態を心不全と呼びます。完全に治る病気ではなく安定させることが目標となりますが、退院後も再悪化や再入院を起こしやすく、繰り返せば繰り返すほど状態が悪化していきます。
一方、上手に再悪化や再入院を防いでいけば元気に長生きできます。
心不全増悪による再入院を多種職で連携して防ぐために展開してきた
大阪心不全地域医療連携の会（Osaka Stops HEart Failure、OSHEF 、オーシェフ）の活動と、それを通じて見えてきたことを紹介致します。

救急医が伝える脳疾患と頭部外傷
～救命救急センターの現場から～



大阪公立大学医学部附属病院 救命救急センター
センター長 西村 哲郎

脳卒中や重症頭部外傷（命に関わるほどの頭の大ケガ）は、救命救急の現場で最も時間との闘いが求められる疾患です。
本講演では、大阪公立大学医学部附属病院救命救急センター長として、脳出血・くも膜下出血・脳梗塞などの脳疾患と重症頭部外傷の診療の実際を、現場の視点からお伝えします。脳卒中では、顔のゆがみや手足のまひ、言葉の障害など初期症状の見分け方、発症から治療までの時間が予後を左右する「タイム・イズ・ブレイン」の考え方、血栓を溶かすt-PA静注療法や機械的血栓回収療法など治療の進歩を、実例を交えて解説します。重症頭部外傷では、ケガをした直後の対応と集中治療の重要性をお話しします。最後に、症状を疑ったときにためらわず救急車を呼んでいただけるよう、ご家庭でできる備えを皆さまと一緒に考えます。

会場アクセス



【電車でご来院の方】

（最寄り駅からの案内）
Osaka Metro（谷町線）都島駅　2番出口から西へ徒歩3分
JR西日本（大阪環状線）桜ノ宮駅　東出口から北へ徒歩7分

【バスでご来院の方】

- 10　天満橋（大阪府）～守口車庫前
- 45　総合医療センター前[玄関前]-諸口
- 57　毛馬中央公園-京橋駅前
- 78　大阪駅前-守口車庫前
- 83　大阪駅前-花博記念公園北口

（最寄り駅からの案内）
大阪シティバス「総合医療センター前」下車